



営農NEWS



越冬トマト栽培での疫病や灰色かび病、葉かび病、すすかび病の発生に注意しましょう

越冬トマト栽培では、この時期、複数の被覆資材で保温するため、施設内が多湿環境になりやすい状況にあります。このため、多湿条件を好む疫病や近年では発病時期が前進化している灰色かび病、また、葉かび病や病徴が類似して区別のつきにくいすすかび病などが発生する恐れがありますので、十分な注意が必要になります。

特に、疫病や灰色かび病はやや低温で多湿の環境が続けば多発生し、一度多発生してしまうとなかなか薬剤による防除効果が上がりにくい病害です。予防に努めるとともに、施設内をよく観察し、発病の早期発見に努め、発病初期の防除を徹底してください。

なお、暖房の稼働時間が長くなれば湿度の低下や送風による風通しも良くなって、発病を抑制する施設内環境になりますが、それまでは発病に十分注意して、適切な管理作業や防除対策を図って、高品質で安定したトマト生産を進めてください。

【防除対策のポイント】

- 1) 適正な樹勢を維持するために、適宜に整枝や剪定、適度の灌水、適切な追肥などの管理作業に努めましょう。
- 2) 下葉や葉の込み合っている場所の葉裏などを丁寧に観察して、病害の早期発見に努めましょう。
- 3) 病害の発生を確認したら、早期に薬剤防除に努めてください。なお、薬剤散布は薬液の乾きが悪い曇雨天の日などは避け、暖かい晴天の日がよく、薬液が夕方までには乾くような時間帯に行いましょう。また、十分量の薬液で、葉裏や下葉にもよくかかるよう丁寧に行うことが特に重要です。
- 4) 薬剤耐性菌の発生を抑制するため、同一系統の連続散布は避けてローテーション散布してください。

表1 トマト(ミニトマトを除く)疫病の主な防除薬剤(平成26年11月11日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
カーゼートPZ水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 2回以内
ダコニール1000	1,000倍	収穫前日まで / 4回以内
プロポーズ顆粒水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内
ランマンフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 4回以内
リドミルゴールドMZ	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内

表2 トマト(ミニトマトを除く)灰色かび病の主な防除薬剤(平成26年11月11日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
カンタスドライフロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内
ゲッター水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 5回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 3回以内
フルピカフロアブル	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 4回以内
ベルコートフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内
ロプルール水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内

表3 トマトまたはミニトマト葉かび病の主な防除薬剤(平成26年11月11日現在)

対象作物 薬剤名	ト マ ト		ミ ニ ト マ ト	
	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
カンタスドライフロアブル	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 3回以内
ゲッター水和剤	1,000~1,500倍	収穫前日まで / 5回以内	1,500倍	収穫前日まで / 3回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 3回以内	2,000~3,000倍	収穫前日まで / 3回以内
アフエットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内
ベルコートフロアブル	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 3回以内	4,000倍	収穫前日まで / 2回以内
ペンコゼブフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内

農薬を使用する際は、ラベルに記載の登録内容、使用法、注意事項などを確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040